

事例 25 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

【質問】

アルツハイマー型認知症と診断されている以外に、糖尿病や高血圧症もあるようですが、体調の具合と様子の変化に関係性は見られますか？

【回答】

- ・糖尿病に関しては服薬と食事療法で安定している為に、空腹感や低血糖、高血糖になることがないので、BPSD につながっている様子は見られない。
- ・時に高熱が見られることがあるも、「大丈夫です。」「心配ありません。」と気丈に振舞っているので、介護者の方が戸惑っている。
- ・身体的な負荷が掛かっていても、日常生活は通常に過ごし、介護者に寄りかかったり、甘えたりするような様子は見られない。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

- ・不良...「頭が痛い。血圧が高いようだ。」と訴えれば、自分の嫌なことはしないですむのでは、と意識的に表現する場面が見られる。
- ・身体状況を訴えることが出来る。

【質問】

意識的に訴えているときの血圧等の状況は安定しているのでしょうか？

【回答】

- ・おおむね安定している。
- ・測定をして値を伝えることで、「そうですか、大丈夫ですね。」と言う。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

- ・プライドが高く几帳面な性格のために、介護者から“ぞんざい”な対応をされると表情が変わる。
- ・自分のいた環境が変わることで不安が増強する。
- ・他の利用者の世話等を否定される言葉を聞くと、かつての自分の立場や仕事ぶりを口にする。(いつも同じ言葉表現を繰り返す)

【質問】

かつての立場や仕事ぶりについて、いつも同じ表現で繰り返すのは、本人にとってどのような思いや意味があると考えられますか？

【回答】

- ・元気で働いていた娘時代、よき妻として生活をしてきた時、几帳面な性格、「自分をきちんと分かってくれない。」「私を馬鹿にして。」等の思いが強く、常に説明を繰り返すことで分かってもらおうとしていると思っている。

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

【質問】

入浴や更衣の時に、明るさや寒さなど周囲からの刺激についてどのような配慮をしていますか？

【回答】

- ・温泉風（暖簾などを見せる）
- ・自然の風景を確認してもらう等。

本人の言葉や状態
ワークシート C- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

- ・ホールを徘徊する。
- ・トイレの場所を排泄のたびに聞く。
- ・「主人の夕ご飯を作らないといけなくて帰ります。出口はどこですか？」
- ・「毎日毎日、風呂には入っているのに、どうして昼間から入らないといけないんですか？」
- ・「他人から馬鹿にされることはありません。」
- ・自分の居場所や環境が変わると不安が増強したり、帰るコールが出てくる。

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

- ・自分はなんでも出来る、他人の世話を受けなくても暮らしていける、と思っている。
- ・家族の面会が遠く。
- ・他人の指示や人を馬鹿にしたような口を利かれた時。
- ・衣服の準備等も自分で出来るのに、タンスに鍵をかけているために自由にならない。

【質問】

家族の面会が遠のいていることについて、家族からその理由などは聞いていますか？また、Aさんは、家族についてどのような気持ちでいますか？

【回答】

- ・家族の面会には嬉しそうにしているけれど、在宅でも密接を必要としていなかった部分があり、Aさんから不満の言葉を聞いたことは無い。
- ・家族にも諸事情があることと、入浴拒否があることがトラウマになっていて、気分的な部分が窺われる。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

- ・出掛けたい。主人の夕食を作る時間等に自分の思ったことが出来ない。(主婦としての活動をしている、出来ると思っている)
- ・タンスに鍵をかけられていること、自分の持ち物を他人が勝手にさわることへの不信。
- ・説明と信頼が得られる対応には理解。

【質問】説明と信頼が得られる対応とは、実際にはどのようなことですか？

【回答】

- ・Aさんに、「ご主人が帰宅されてどのようにされているかを電話してきます。」と答えて、「電話をしました。今日はお嫁さんが夕食を作られるそうです。」と説明する。衣類の準備は、鍵を開けながら「大切な物ですからきちんとお預かりをしています。必要な時いつでもお出します。」説明を求められた時には、必ず同一者が返事を返すことにしている。

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

- ・排泄動作は自立しているが、居場所等の失見当識が見られるため、確認をしているのでは。
- ・自分の中で納得出来て、必要と思うことの活動はするが、“させられている感”はプライドが許さない。表情に表れる。

【質問】納得出来て必要と思うことの活動と、“させられている感”の活動とでは、活動の持ち方や内容、意味や目的などにどんな違いが感じられますか？

【回答】

- ・通常の活動(ぬりえ、体操、音楽療法)等には参加しないし、声掛けにも拒否が見られる。
- ・主婦として必要なこと(下膳、テーブルを拭く、衣類を片付ける、他人の世話をする)等は、積極的にする様子が見られるが、いつもどおりに指示すると拒否が見られ、自発性を大切にすることが求められている。

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

- ・施設に入っていることを理解出来ていない。
- ・几帳面に一人暮らしをして、周囲にもそれなりの存在意識があった。頼られていた。
- ・着物(上物)をきちんと縫っていたこと。
- ・一人暮らしがきちんとできていたと思っている。
- ・良妻賢母のタイプ。

【質問】

几帳面に一人暮らしをし、存在感もあつた暮らしから、施設の生活に変わることになり大きなギャップに苦しんでいるように感じられる出来事などはありますか？

【回答】

- ・施設の中から自由に出来ないことに、常に不安と憤りを感じている言動が見られる。